

広島市歯科医師会だより

Hiroshima City Dental Association

1月号

No.225 (R8.1.15)



「市民公開講座～介護もアナウンサーもお口が命！」



日時：2026年2月1日(日)午後1時～ 開催
場所：広島県歯科医師会館 2階 ハーモニーホール
講師：馬場 のぶえ (元広島テレビ放送アナウンサー)
について、一般締切日は1月16日(金)ですが、
当日参加も可能ですので、ぜひご参加ください！！

行事報告

第5回 支部長・副支部長会議	1
広島市歯科医師会 クリスマスパーティー	2

支部だより

中区支部	2
東区支部	4
南区支部	4
西区支部	7

ちょっとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について(総務部)	8
2025年以降、歯科医師不足の時代がやってくる?(総務部)	8
歯科補綴材料における強度の試験について(学術部)	10
広島市歯科医師会会員紹介(厚生部)	11
～ハハ姉妹の学校ニュース《33時間目》「歯ならびは、いつ治すの?」～(地域歯科保健部)	12

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会より「こんな医療トラブルが起っています」(総務部)	12
介護予防教室(地域歯科保健部)	13
今月の知っておきたいこと(広報部)	14
YouTube(広報部)	15
FMちゅーピー(広報部)	16
LINE公式アカウント 友達募集	19
会長コラム 年頭の挨拶	17
12月定例理事会報告	18



被災時や緊急時の会員安否確認のための

LINE 登録をお願いします!!

現時点での登録者数 198/439人 2026.1.6現在



行事報告

第5回 支部長・副支部長会議

日時：12月17日(水)午後7時

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事が出席した。始めに瓜生会長より「あと2週間で今年も終わりますが、支部長、副支部長の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。年が明けたら新年互礼会がありますので、ぜひご出席をお願いいたします」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

- 10月15日 第4回支部長・副支部長会
- // 幟町・基町圏域多職種連携会議小委員会
- 10月19日 第42回健康ソフトボール大会(グラウンド不良の為中止)ソフトボール大会懇親会
- 11月29日 江波圏域多職種連携会議
- 11月30日 中区健康よろず相談会
- 12月6日 中4班忘年会
- 12月15日 吉島圏域多職種連携会議小委員会

東区支部

- 10月15日 第4回支部長・副支部長会
- 10月19日 第42回健康ソフトボール大会(グラウンド不良の為中止)ソフトボール大会懇親会
- 10月24日 在宅医療研修会
- 11月6日 第3回二葉圏域医療と介護・地域の多職種連携会議
- 11月13日 救急蘇生講習会
- 11月16日 東区市民公開講座
- 11月21日 ひがしの絆摂食嚥下を考える会ネットワーク会議

南区支部

- 10月15日 第4回支部長・副支部長会
- // 段原・翠町包括圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会
- 10月19日 第42回健康ソフトボール大会(グラウ

ンド不良の為中止)ソフトボール大会懇親会

- 10月21日 南区認知症初期集中支援事業研修会
- 10月26日 南区ボランティアフェスティバル
- 11月7日 南区の在宅医療連携を考える研修会
- 11月18日 宇品・似島/仁保・楠那圏域合同在宅医療・介護・地域関係者研修会
- 12月1日 南区在宅医療・介護関係者・危機管理研修会
- 12月2日 南区医師と訪問看護ステーションとの在宅医療連携研修会
- 12月5日 県立広島病院医局主催忘年会
- 12月8日 段原包括圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会
- 12月10日 南区支部忘年会および長寿を祝う会

西区支部

- 10月15日 第4回支部長・副支部長会
- 10月19日 第42回健康ソフトボール大会(グラウンド不良の為中止)ソフトボール大会懇親会
- 11月2日 第41回西区民まつり
- 11月26日 在宅医療・介護連携西区地域保健対策協議会講演会
- 12月6日 西区支部忘年会
- 12月11日 西区6包括合同医療と介護の連携会議

執行部

- ・令和7年10、11月分の休日診療保険請求における留意事項について
- ・支部の退会について

- ・年末休日診療について
- ・新年互礼会について
- ・その他

協 議
なし

(執筆者：森本慎樹)

広島市歯科医師会 クリスマスパティー

日時：12月20日(土)午後6時

場所：ANA クラウンプラザホテル広島 3階「オーキッド」

標記会が開催された。今年の「大瀬戸千嶋クリスマスショー」には会員、家族、スタッフを含め325名が出席した。

瓜生賢会長の挨拶に続き、熊谷宏顧問が乾杯の発声を行った。美味しいフランス料理に舌鼓を打ちながら、抽選会が始まり、豪華な景品が当たる度に歓声が上がって会場は大いに盛り上がった。

その後、テレビ、ラジオなどでも活躍、テレビ派やFM

ちゅーピーでお馴染みの大瀬戸千嶋のショーが始まった。サクソとエレクトーンを用い、クラシックをベースに様々なジャンルで構成された楽曲を披露、軽妙なトークとともに来場者を沸かせた。最後には観客も皆立ち上がり、広い会場内を歩きながら演奏するファンサービスで会場は一体となり、成功裏に終わった。

執行部では令和8年も様々な福利厚生事業を予定しているので奮ってご参加いただきたい。(執筆者：横村康彦)



(左) 抽選会の様子 (右) 大瀬戸千嶋クリスマスショーの様子

支部だより

中区支部

令和7年度 第18回 江波圏域多職種連携会議

日時：11月29日(土)午後4時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

講師に、白土耕司広島市消防局中消防署警防課救急係救急係長を迎え、「救急要請の現状と対応について」「ACPの実現に向けて～救急隊の立場から～」という2題の演題で講演が行われた。その内容は、現場の救急隊員の大変さと苦勞を垣間見るものであった。特に、ACP関連においては、患者本人が救命処置を希望しない場合の対処に、現場の困難さが俣ばれた。

それから、グループワークへと移行、その後すべてのグループによる発表が行われ、それぞれのグループが各職種の視点から、様々な意見が出された。

なお、この会議には、中区支部より波田佳範支部長、鎌田浩一氏、長谷川聰氏、森田薫氏が出席した。

(執筆者：波田佳範)



白土耕司広島市消防局中消防署警防課救急係救急係長(中央)と参加した中区支部会員

令和7年度 健康よろず相談

日時：11月30日(日)午前10時

場所：大手町平和ビル 5階「全フロア」

始めに、中区在住の中高齢者を対象にしたACP関連の講演に始まり、その後内科相談、整形外科相談、歯科相談、お薬相談のブースに分かれ、参加者は自分が関心を持ったところに行くという形式のものだった。昨年とは異なる形式でのイベント開催であり、参加者は歯科のブースにはあまり関心がないのではと思っていたが、意外に摂食嚥下に関心を持つ参加者は多く、いろいろな人が立ち寄った。

なお、このイベントには中区支部より波田佳範支部長と光山素夫氏が出務し、波田支部長が口臭測定、舌圧測定、

オーラルディアドコネシス(パタカ運動)を、光山氏が口腔内細菌数測定、口腔乾燥測定を担当した。

(執筆者：波田佳範)



出務した光山素夫氏と波田佳範支部長

令和7年度 中4班忘年会

日時：12月6日(土)午後6時30分

場所：「割烹・寿司うめだ」

標記会が開催され、13名の会員が参加した。

尾山奈々子氏、古胡怜氏が宴の進行を任された。冒頭の波田佳範中区支部長の挨拶では、高市早苗総理大臣や横田美香広島県知事など最近の女性の活躍に触れられ、本会においても女性の活躍に期待するという明るい言葉をいただいた。その後、お酒の提供を待つ間に出席者一同自己紹介を行った。乾杯の音頭は吉岡道治氏。二世、三世にとって懐かしい話をして下さっていた最中、話が長いよコールが入り(笑)乾杯へ。はい、次回からはお酒を頂きながらにいたしましょう！

クエなど美味しい魚料理を頂きながら和やかに時間は流れ、新入会員の安藤洋平氏の挨拶では自身の経歴などについて話されたあと、来春には家族が合流し単身赴任生活が終わることが報告され、みんな笑顔、拍手が起こっ

た。

熊谷宏氏による閉会の挨拶では会員動向について触れられ、諸先輩方にはこれからも元気にまだまだご活躍いただきたい、と締めくくられた。楽しい宴であった。

(執筆者：尾山奈々子)



忘年会の参加者

東区支部

歯周病予防教室

日時：11月27日(木)午後1時30分

場所：馬木公民館 2階「研修室」

馬木公民館・東区地域支えあい課主催の歯周病予防教室が開催された。本会東区支部の加藤正昭氏が「毎日の健康はお口から～いつまでもおいしく食べるために～」と題して、18名の参加者に講演を行った。

講演では、生涯自分の歯で食べる楽しみを味わい続けるために歯が大事であるということを述べた。歯周病は自覚症状が出にくいという生活習慣病としての特徴をもつことや、バイオフィルムを形成するプラークに対して機械的除去が重要であることなどを解説した。また、歯周病と全身疾患との関わりについて動脈硬化、糖尿病、誤嚥性肺炎について説明した。最後に、歯周病予防におけるセルフケアとプロフェッショナルケアの重要性を強調した。

講演後の質疑応答では、歯科医院でのフッ素塗布の効果やフッ素使用の頻度についての質問があり、参加者の健康維持への関心の高さが伺われた。

その後、砂川尚子歯科衛生士によるブラッシング指導が行われた。今後も東区支部では地域からの講演依頼には積極的に対応し、市民に対して口腔の重要性を啓発していく予定である。

(執筆者：加藤正昭)



講演をする加藤正昭氏

南区支部

令和7年度 南区宇品・似島／仁保・楠那圏域合同在宅医療・介護・地域関係者研修会

日時：11月18日(火)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

標記会が「在宅・高齢分野における精神症状への対応～本人・家族の事例を通じて学ぶ～」をテーマに開催された。

まず「高齢者にもみられる精神疾患・症状について」の演題で、片岡努宇品神田クリニック精神保健指導医による講義が行われた。続いて片岡指導医、田中佳子医療法人せのがわ瀬野川病院精神保健福祉士を助言者として「そうだ事例を共有しよう！」を念頭に置いた情報交換会が行われた。「要求の強い家族」「高齢期のアルコール依存」

「救急車頻回利用」の3事例について、それぞれ筏弘樹訪問看護ステーションみなみ看護師、森岡ゆみこ慈恵コーポレーションSC豊介護支援専門員、大成美恵子相談支援事業所みらい's相談支援専門員による実際の症例の概要についての説明後、各グループでセッションし全体で意見交換を行った。実際に担当された医療者の方々の苦勞がよく伝わり、まさしく「そうだこういう時こうすれば」

という発想のトレーニングになった。最後に片岡指導医より総括をいただき閉会の運びとなった。なお南区支部からは伊藤良明副支部長、高橋兼一郎氏、中川誠氏が参加した。(執筆者：伊藤良明)



研修会の様子

南区在宅医療・介護関係者・危機管理研修会

災害時に生かす情報管理～多業種で挑むクロノロジー訓練～

日時：12月1日(月)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

野島秀樹南区医師会理事の司会の下、災害時に生かす情報管理についての研修会が行われた。

半田徹広島市南区地域保健対策協議会会長のご挨拶ののち田治明宏広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学契約技術職員により「災害時に生かす情報管理～多業種で挑むクロノロジー訓練～」と題して講演いただいた。

平時に入ってくる情報はあらかじめ計画・経験・予想された内容で、かつ整理・自動化された情報でありそれに対しての担当部門が明白で効率よく対応を割り当てることができるが、反面ICT化でアナログスキルは低下する。対して災害時は経験無く予測・分担できない情報が不定期に入ってくるため連携を行わない場合、重複作業が発生し、逆に情報欠落しても気づきにくい。また、優先順位も未経験では分からないためアナログでの情報記録や分析資料作成が有効となる。

災害時には速やかに本部を立ち上げ、本部長・記録担当・連絡担当・情報管理担当・資源管理担当の役割分担を行う。そのうえで入ってきた情報を共有し、分析することが重要である。そのアナログ方法として有効なものがクロノロジー(出来事や活動内容を時系列に沿って記録・整理する情報管理の手法)である。共通のフォーマットとして時刻・発信者・受信者・内容を表でホワイトボード等へ書き出し、アナログ化したものを共有することが重要であるとのことであった。

その後実際の災害が起こったとの想定で本部長を田治氏、連絡担当・情報管理担当・資源管理担当を参加者の代表が務めたうえで寸劇が行われ、各々が記録係として入

ってきた情報をクロノロジーを用いてアナログ化する実習を行った。耳から入ってきた情報を漏らさず即時に書き出すことの難しさを改めて実感した。

その後グループワークを行い、不明点、疑問点、問題点などを話し合ったのち出された意見の発表を行った。少人数の施設での役割分担の方法について、録音することの有効性や、スタッフの安否確認等の方法をあらかじめ決めておくことで災害時の混乱を避ける、などの質問、意見が出された。

最後に安富真紀子南区役所/皆実保健センター医務監・センター長から閉会挨拶が行われ閉会となった。

今回の研修について、昨今県内では水害もたびたび発生し、芸予地震発生の可能性も危惧されるなか、実習も行われ有意義なものとなった。参加者の中には先般の水害時に被災され勤務先でクロノロジーを実体験された方もいらしたが初めてでは対応が難しかったとのことで、前もって準備できたことは有意義であるとともに院内での研修も重要であると感じた。(執筆者：竹口恒久)



研修会の様子

令和7年度 広島市南区在宅医療・介護連携推進事業

南区医師と訪問看護ステーションの在宅医療連携研修会

日時：12月2日(火)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

標記会が野島秀樹南区医師会理事の司会の下、開催された。

まず、半田徹広島市南区医師会会長から開会の挨拶が行われ、続いて、南区におけるメディカルケアステーショ

ンの現状について、野島理事からアンケート結果の報告があった。

次に講演が行われた。講演のテーマは「訪問看護・在宅医療におけるメディカルケアステーションを用いた連携

についての経験」で、まず、訪問看護ステーションレジハピの船本千恵氏が、続いて、橋本和憲ひのでクリニック院長が、それぞれの症例をあげて講演を行った。

次にグループワークが行われ、それぞれの職種の立場から意見交換を行い、グループごとにメディカルケアステーションの利点、問題点などを発表した。

最後に福田由美県立広島病院副看護部長により、閉会の挨拶が行われた。(執筆者：平井由美)



研修会の様子

令和7年度 段原包括圏域 在宅医療・介護関係者研修会・連絡会

日時：12月8日(月)午後7時

場所：段原公民館「研修室2」

標記会が東雲一丁目医療・介護関係者と防災士がつながる研修会～もしもの時、“知っている関係”が命を守る～というテーマの下行われた。

野島秀樹広島市南区地域保健対策協議会理事により「災害に備える地域の力～南区の医療・介護連携の取り組み～」と題して南区の医療・介護における地域BCPの課題、ICT ツールを用いた災害時模擬訓練などについて解説があった。続いて、藤原ひとみ東雲本町一丁目町内会防災士より「我が町内会の防災の取り組みについて」の発表が行われ、地域防災士会の発足や啓発活動、模擬訓練、防災マップの更新や避難場所の検討など多岐にわたる活動を紹介された。災害時では自助・共助を軸に地域での助け合いの力を高められるよう工夫をされていた。

能登半島地震発生時の避難所のドキュメンタリー映像を見た後に意見交換会が行われ、高齢者だけでなく医療ケア児の避難、ライフラインが止まった場合の避難生活

や要介護者への支援、情報の収集や共有などについて専門職や防災士、町内会役員などそれぞれの立場から多様な意見が取り交わされた。

折しも当日の夜半に青森県で震度6強の地震が起き、災害対策の重要性を非常に強く再認識させられることとなった。

なお本研修会には、南区支部より中川誠氏が参加した。

(執筆者：中川誠)



研修会の様子

令和7年度 南区支部忘年会・長寿を祝う会

日時：12月10日(水)午後7時30分

場所：「安芸茶寮」

標記会が例年通り賑やかに開催された。岡野聡氏の司会進行で、上田裕次支部長の開会挨拶後、瓜生賢会長(本会からは会長ほか能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事にご列席頂いた)および神田拓県立広島病院歯科口腔外科部長の来賓挨拶(神田部長からは県病院の救急車購入のためのクラウドファンディングのお願いや休日外傷等による口腔外科ホットラインについてのお話があった。)、令和7年度南区新入会員の紹介があり、

代表して小野裕貴氏にご挨拶頂いた。続いて長寿のお祝いの会を行い、卒寿、米寿、喜寿、古希それぞれに該当する先生方に記念品を贈呈し、代表して大平勇治氏にご挨拶頂いた。乾杯の後食事とお酒を楽しみながら歓談し盛り上がりがあった。(個人的には同級生の再婚の話を聞き、人生のすごさを垣間見ました)楽しいひと時はあっという間に終了し、副支部長の閉会の挨拶後、記念写真を撮影し、お開きとなった。南区支部は令和8年2月5日に学術

研修会を予定しております。終了後に宴席も用意しており、ご参加宜しくお願い申し上げます。

(執筆者：伊藤良明)



忘年会の参加者

西区支部

令和7年度 第2回広島市西区在宅医療・介護連携推進委員会

日時：12月1日(月)午後7時15分

場所：オンライン開催 (Zoom)

標記会が Zoom ウェビナーによるオンラインにて開催された。

医療や介護職の職域代表と、地域包括支援センターのセンター長や行政担当者など 32 名で構成される委員会で、西区における在宅医療・介護連携を推進するための事業や、在宅医療・介護関係者の研修会・事例検討会等を開

催している。本年度の事業の実施状況と今後の実施予定の報告が行われた。どの事業も、参加するメンバーが固定されつつあることが問題となっており、多くの歯科医師が在宅医療・介護の連携会議や事例検討会への参加が期待されている。なお、本会より濱岡代枝氏が参加した。

(執筆者：濱岡代枝)

西区支部忘年会

日時：12月6日(土)午後7時

場所：「正弁丹吾」

標記会が、例年とは異なる会場である「正弁丹吾」にて瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長を来賓にお迎えし、幅広い年代の総勢 35 名にて行われた。

引地渉副支部長司会の下、最初に物故会員、長尾誠氏へ黙祷を捧げた。

その後、大坪宏支部長、次に瓜生会長から挨拶を賜り、今井多聞氏の乾杯の音頭で宴の始まりとなった。

数種類の小鉢を差しつ差されつ瓶ビールでこなし、ふぐ刺しを香るひれ酒ですっきりと流し込む。舌鼓を打ちつつしばしの歓談。

宴も酣、本年も柄博紀氏、堀健太郎氏の淀みない司会で進行される恒例のビンゴ大会となり、参加者は多種多様

な景品に胸を躍らせ、会場は歓声と悲鳴が入り混じり大盛況であった。

再び歓談後未だ興奮冷めやらぬ中、前田哲也氏、林優美氏、引地副支部長の閉会の挨拶で名残を惜しみつつも散会と相成った。(執筆者：藤岡正朗)



忘年会の参加者

広島市西区第30回 かかりつけ医推進委員会

日時：12月8日(月)午後7時15分

場所：オンライン開催(Zoom)

標記会がZoomウェビナーによるオンラインにて開催された。

かかりつけ医推進事業とは、広島市西区の行政および医師会が主体で行っている電話による医療相談事業で、令和6年度(令和6年4月～令和7年3月)と令和7年度(令和7年4月～9月)の利用状況の報告とその内容につ

いて報告があった。歯科については、引越したので近隣の歯科を教えてほしいという内容であった。ネットを使える人が増えている反面、電話相談である本事業は年間100件近く相談があり、情報弱者を置いてきぼりにしない大切な事業で、今後も継続していく方向である。なお、本会より濱岡代枝氏が参加した。(執筆者：濱岡代枝)

ちょっとイイ話



耳寄り情報

総務部

休日診療保険請求における留意事項について



大井手和久理事

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただいたら幸いです。

- ・左側顎関節症の病名でセフジトレンピボキシル錠の投薬がなされていたものがございました。顎関節症病名での抗生物質処方とは異なると思われま

2025年以降、歯科医師不足の時代がやってくる？

数年前まで、歯科医院がコンビニより多く、供給過剰なのではないかと言われ、歯科医師国家試験の合格率が低くなったことは皆さんご存知のところ

1. 歯科医師の高齢化
2. 歯科医師国家試験の難化
3. 高齢化社会による需要急増の可能性

が挙げられています。歯科医師は令和4年末時点で105,267人と2年前と比べると2,000人程度減っています。年齢別でみると、最も多いのが60代で23,566人、次に50代で22,398人です。ちなみに70代以上は12,833人なので、50代以上の歯科医師はおよそ6万人と歯科医師の半数以上を占めています。一方、20代の歯科医師は5,963人、30代は16,942人と少なく、10年後20年後を考えると心もとない状況です。歯科医師が全体的に高齢化し、なり手が不足していることが問題と言えます。なり手が不足している背景には、歯科医師の国家試験が難しいことが原因ではないかと指摘する声があります。以前は歯科医師の国家試験の合格率は8割程度ありましたが、現在は6割台に落ち込んでおり、明らかに難化している状況です。難化した理由はさまざまですが、歯科に関する知識だけでなく、在宅医療など本来なら歯科医師になってから学んでもよさそうな知識を国家試験の段階で問うことも考えられます。そして、ここ10年は合格者を2,000人前後にしていることも要因と言えるでしょう。

また、日本では超高齢社会に突入し、全人口のうち65歳以上が占める割合が20%を超え、今後も割合が増えていくことが予想されます。そして超高齢社会に伴い、歯科に対するニーズが高まると言われています。

厚生労働省の調査によると、要介護認定を受けた高齢者のうち64.3%に歯科治療が必要であると判断されました。しかし、歯科医院で治療を受けたのはわずか2.4%と非常に少ないのが実情です。要介護認定を受けると歯科医院に通うのが大変なため、歯科訪問診療が必要となることも理由とされています。歯科訪問診療のニーズは年々高まっていく中で、訪問診療を担える歯科医師が減ってしまうという状況も考えられるでしょう。

<歯科医師不足時代がくることで生じる問題>

歯科医師不足に陥ると、歯科医院を引き継いでくれる後継者も見つかりにくくなります。後継者がいないと、高齢の歯科医師が1人で歯科医院を切り盛りすることになり、診療できる患者の数が限られます。すると、経営規模も大きくできず、経営が不安定になる恐れも出てくるでしょう。

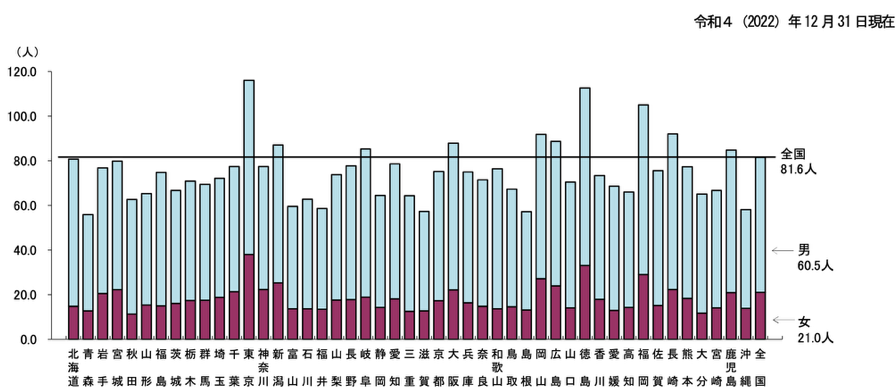
何より、後継者がいないことで、高齢の歯科医師が倒れた時、休診せざるを得ず、治療中の患者に悪影響が出ます。歯科医師不足は由々しき事態に陥りやすいことが言えるでしょう。

また、歯科医師不足を指摘する声がある一方、地域によっては歯科医師不足ではなく、むしろ「歯科医師過剰」の状態にあるエリアも存在します。現状でも歯科医師の数に関して地域格差が生じており、既に歯科医師不足の状態になっているケースも見受けられます。今後都市部で歯科医師不足となった場合、地方都市では、さらに歯科医師が減少することは明らかです。その場合、歯科医院での治療すら受けにくい状態になりかねず、大変な事態になってもおかしくありません。

令和4年末における都道府県別の人口10万人当たりの歯科医師数を見ると、100人を超えていたのは東京・徳島・福岡でした。一方、全国平均の81.6人を超えていたのは10都府県に限られ、大半の道県は平均に達していませんでした。60人を割っていたのは、青森・富山・福井・滋賀・島根・沖縄です。

政令指定都市別では、東京23区で133.7人と明らかに歯科医師が多く、100人オーバーの地域が多く存在しました。地方にある政令指定都市でも100人を超えるところが少なくないため、地方の政令指定都市に足を運んで歯科治療を受けるような状況も今後は考えられます。

図12 都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口10万対歯科医師数



結論としては、歯科医師不足は2025年には始まるのではないかとされていますが、少なくとも2030年までは歯科医師は増加傾向にあると指摘されています。歯科医師の高齢化はありながらも、70代以上の歯科医師が現役で頑張り続ける限りは、減りにくい状況と言えるでしょう。歯科医師数を巡って、日本歯科医師会は2032年になっても歯科医師の数は過剰な状況にあると予測しており、国家試験の合格者を1,500名程度にするべきという検討を行っています。歯科医師は不足しているのか、それとも過剰なのか、立場によってその考えは異なっている状態なのが現状です。

出典元

<https://dental-fitness.co.jp/column/dentist-shortage-is-coming/#>

厚生労働省

歯科医師受給問題の経緯と今後への見解 日本歯科医師会 平成26年10月を改変引用



周藤巧委員

歯科補綴材料における強度の試験について

私は2022年に「ハイブリッド型コンポジットレジンブロックを用いた補綴についての考察」をだよりに投稿しました。その中に二つの強度基準がありましたが、私自身ピンと来ていなかったのを調べてみました。二つとはビッカース硬さと三点曲げ強さです。

ビッカース硬さとは圧子と呼ばれる正四角錐(ピラミッド形状)のダイヤモンドを試験材料の表面に押し付ける試験です。まず対面角136°の正四角錐のダイヤモンド圧子を、一定の試験荷重で試料の表面に押し付けます。次に圧痕の測定を行います。荷重を取り除いた後、試料表面に残ったピラミッド形の永久くぼみの2つの対角線長さの平均値を光学顕微鏡で測定します。測定された対角線長さから、定義式に基づいて硬さ値が算出されます。CAD/CAM分類では小臼歯および前歯が55以上、大臼歯が75以上と記述されています。この数値は金属の銅に近く、表面の押し込み硬さは十分であると理解できます。

次に三点曲げ試験です。2点で支えた試験片の中央に荷重を加え、材料の曲げ弾性率・曲げ強度・応力-ひずみ挙動を評価する試験です。試験片が破断するまで力を加え、その際の荷重とたわみから、材料の剛性や強度、破壊限界を評価できます。試験の仕組みはまず試験片の両端(2点)を下から支えます。次に試験片の中央(1点)に荷重を加えます。支持点2点と荷重点1点の計3点で測定するため「三点曲げ」と呼ばれます。三点曲げ試験の公式は試験片の断面形状によって異なりますが、歯科では長方形断面の公式が用いられます。公式は以下の通りです。

$$\sigma_f = \frac{3FL}{2bd^2}$$

標準寸法と上記の公式を用いて、歯科用材料の機械的強度が評価されています。CAD/CAMでは一般的なISO規格の試験ではなく、7日間37度の水中浸漬後という条件が加えられています。これから導かれる数値が160Mpa(小臼歯)240Mpa(大臼歯)でした。

以上、二つの試験を紹介しました。これらは単純な一方向の静的荷重を想定しています。実際の口腔内の複雑な応力状態の再現は困難極まります。臨床での破壊リスクを正確に予測するものではありません、と以前であればここで締めていました。

データはアップデートされていきます。CAD/CAM冠の保険の導入は2014年4月です。2024年に後向きコホート研究とランダム化臨床試験によるCAD/CAM冠の生存率の報告が上がりました。2~5年経過症例におけるCAD/CAM冠の生存率は87.9-97.9%です。CAD/CAM冠タイプはその生存率に影響はしないそうです。

単純な強度テストでは長期の使用に不安が残っていました。それが保険に導入されたことで、多くの症例数を対象にした生存率が算出されるようになりました。私個人の感想ですが、新材料の保険導入が良い方向に向かったケースだったと考えております。

参考資料)CAD/CAM冠用ハイブリッドレジンブロックの特性に関する研究(日本歯科理工学会誌2017年36巻6号P.453-459)、保険診療におけるCAD/CAM冠の診療指針202(2024年3月公益社団法人日本補綴歯科学会)、歯科材料メーカーによる技術資料PDF、材料ごとの強度比較データなど



小早川尚史委員長

広島市歯科医師会会員紹介

厚生部では会員の相互の認識を深めるべく、新入会員の先生を中心にインタビュー記事を掲載していきたいと思えます。今月はつか矯正歯科の柄優至先生です。それではよろしくお願ひします。

Q1. まずは先生の自己紹介をお願いします。

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました、「つか矯正歯科」の柄優至と申します。

私は広島市出身で、修道中学校、高等学校を卒業し部活は軽音楽部に所属しておりました。大学でも軽音楽部に所属しておりましたが、最近では家でギターをたまに触る程度ですが、昔から音楽が好きです。最近ではCDが売れないデータ時代ですが、レコードやCDが好きでたくさん家にあります。また、ラーメンが好きです。

Q2. 先生が歯科医師を目指したきっかけを教えてください。

父親、母親、叔父が歯医者であり、幼少期から親しみのある職業で、漠然と自分もいつか歯医者になるのだろう、というのがきっかけかもしれません。

Q3. 子供の頃、歯科医師以外でなりたい職業はありましたか？理由もあれば一緒に教えてください。

音楽が好きでしたので、レコード屋さんで働いていました。

Q4. 先生の仕事の息抜きとはなんですか？

家族とでかけること、お酒を飲むことです。

Q5. 歯科医師会に入って良かったこと。歯科医師会でやってみたい事があればお願いします。

これからですが、いろいろな先生と交流ができるということです。また、歯科医師の職業がどんなものかを世間に知って頂くことです。

Q6. 最後に 30 年後(もしくは 70 歳)の自分にメッセージをお願いします。

30年後には、おそらくもう仕事はしていないと思いますが、ちゃんと趣味があり、健康で、少しの貯えがあり、残りの人生で人の役に少しでも立てる力があることが望まれます。人との関わりを大切にできていることを願ひします。

先生ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。



小学生低学年の頃の写真



(左) 柄優至氏

(右) 柄優至氏の従兄弟 柄慎太郎氏



インタビュアー：柄慎太郎委員長

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

歯ならびは、いつ治すの？

6歳ごろになると、奥歯（6歳臼歯）が生え始め、前歯も永久歯に交換していきます。この頃になると成長発育を利用した治療効果も得やすいため、治療を始めることができます。このような歯ならび・咬み合わせの場合、早めに治しましょう！

上下のあごの成長量や位置・形に問題があるため、個人差はありますが、上あごの成長時期である**6歳から9歳ごろまでに治療を始めることが望ましいです。**

歯ならびを治すのは大人になってからでもできます。しかし、あごの成長が終わってから治療を始めると時間がかかりますし、大人になってから手術をしないといけない場合もあります。**あごの成長を利用できる小学校低学年～中学年のうちに子どもの時期の矯正治療を始めましょう。**

歯医者さんからのメッセージ
矯正治療を始める時期は、歯ならびの状態によって大きく異なります。矯正治療が必要かどうか？始めるのであればいつ頃が良いか？自分で判断するのは難しいかと思うので、一度かかりつけの歯科医院で相談してみましょう。

8020
80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう

土江雄治朗先生

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変してください。

※今回は地域歯科保健部 土江雄治朗氏 他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDF は下記 URL または QR コードよりダウンロードしてください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より **「こんな医療トラブルが起こっています」**
広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われなように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：治療歯の予後について

ある歯科医院で2年間治療を受けたが症状が改善しなかったため、2つの歯科医院に転院した。

いずれの歯科医院でも最初の歯科医院での診断誤りを指摘され、抜歯を提案された。

納得がいかないので、補償を求めたい。

(センターの対応)

センターでは治療の是非は分からないため、最初の歯科医院に再度説明を聞くことを勧め、その上で納得でき

ず相談する先として、医療介護 ADR と歯科医師会の連絡先を伝えた。

(コメント)

患者さんが治療において満足いただけない場合は誠心誠意寄り添い対応しましょう。また、他院から転院された患者さんの訴えに、誠意を持って対応することは必要ですが、他院の批判は自院も含めたトラブルに参加することもありますので、行わないようにしましょう。

事例2：学生の臨床実習について

学生教育を行っている総合病院に通院中だが、学生ではなく歯科医師に治療してもらいたい。

(センターの対応)

歯科医師には直接言えないとのことなので、外来にいる歯科衛生士などの他職種に相談することを提案した。

(コメント)

学生の臨床実習への協力については、事前に同意書等で患者の希望を確認しましょう。

地域歯科保健部

広島市観音地域包括支援センター主催 「介護予防教室」

日時：12月3日(水)午後1時30分

場所：観音公民館2階「研修室1」

広島市西区観音公民館にて、広島市観音地域包括支援センター主催の「介護予防教室」が開催された。「お口の健康について～お口の機能とオーラルフレイル～」と題し、岡田浩幸本会地域歯科保健部委員が、12名の西区観音地区の住民に対して、講演を行った。

講演では、フレイルの前段階であるオーラルフレイルを理解し、摂食嚥下障害を予防・改善できれば介護予防につながることを示した。また、オーラルフレイルは窒息や誤嚥性肺炎のリスクも高めるため、早期の改善が必要であることを説明した。

実際にお口の状態チェックリストやオーラルディアドコキネシス、反復唾液嚥下テスト(RSST)、ペコぱんだを使用した舌圧チェック等のオーラルフレイルチェックを参加者全員で行った。

その後、オーラルフレイルを改善・予防するためには、一般的な口腔清掃を行う口腔ケアだけでなく、口腔機能の維持・改善のために顔面体操やペコぱんだを使用した舌圧トレーニングなどの日頃からの運動が重要であること、すでにオーラルフレイルの該当者は、広島市の

総合事業である短期集中通所口腔ケアサービスを利用できることを説明した。

また、かかりつけ歯科医院をもち定期歯科健診を受けることでお口の健康から全身の健康の維持・増進につながるため、積極的な受診を勧めた。

講演の最後に、本会の取り組みとして節目年齢歯科健診や妊婦歯科健診、在宅訪問歯科健診等を説明し、本講演は盛況のうちに終了した。

今後も地域住民との関わりを持ち、地域歯科医療に貢献できる活動を続けていきたいと考えている。

(執筆者：岡田浩幸)



講演をする岡田浩幸地域歯科保健部委員

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

くわえるだけで歯磨きが完了するロボット歯ブラシ製品化へ。最短1分、手を動かさずに歯垢の7～8割を除去 | インターネット | 東洋経済オンライン

<https://toyokeizai.net/articles/->

早稲田大学発のスタートアップ Genics(ジェニクス)は、口にくわえてボタンを押すだけで歯磨きが完了するロボット歯ブラシ「g.eN(ジェン)」を開発し、2025年12月2日からクラウドファンディングを通じて一般向け販売の募集を開始した。アームに14個の小型ブラシを備え、上下の歯列を包み込むように同時に磨く構造で、ブラシが自動的に移動・回転して頬側・舌側の両面を清掃するため、従来の電動歯ブラシのように使用者が当てる位置を調整する必要がない。2022年に発表された試験では、歯垢残存率が平均22.4%と報告され、手磨きと同程度の清掃効果が得られる可能性が示された。価格は早期支援で約3万1,000円、通常価格で約3万6,500円と設定され、医療・介護の現場向けに限られていたロボット歯磨き技術が一般家庭、高齢者、手の動きが不自由な人へ広く普及する転機になると期待されている。一方で、細部の清掃性能、歯間部や奥歯裏側の磨き残し、メンテナ



[/920900?page=5](https://toyokeizai.net/articles/-/920900?page=5)

ンス性、継続使用のしやすさといった実用面の検証は今後の課題として残る。g.eNは手間を大幅に減らしつつ一定の清掃効果を目指す新たな口腔ケア手段として注目されており、今後の臨床データやユーザー利用実績によって価値がさらに明確になると考えられる。



佃文蔵委員

考察

人によって歯列や歯の形態が異なるのに、同じ装置ですべてを磨き切るのとは不可能だろうと歯科医師としては懐疑的に見てしまいましたが、発想は面白いと思いました。もともと介護や手の不自由な人向けに使用されているということで、そういう意味では非常に有用な装置だと思います。ロボットやAI技術の進歩は目覚ましいので、今後、データを蓄積していけば、ルンバのように歯面を隅々まで掃除してくれるロボット歯ブラシに進化していくかもしれません。

てんかん児における睡眠時無呼吸は心臓突然死リスクを高める

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/4013>

小児てんかん患者では、睡眠時無呼吸(sleep apnea; SA)は、心臓突然死(突然の心停止、sudden cardiac arrest; SCA)、および不整脈のリスク増加と関連しているとする研究結果が、「Pediatrics」に8月19日掲載された。



てんかんを有する児における主要な死因の一つはSCAであり、1,000人に1人の割合で発生し、また、そうしたSCAの87.5%は睡眠中に生じていることがそれぞれ報告されている。

国立成功大学(台湾)のPo-Ming Wu氏は、18カ国、141カ所以上の医療機関の医療電子記録を収集しているデータベース「TriNetX」を用いて、2000年1月から

2025年3月の間にてんかんの診断を受けた18歳未満の患者について、SAの有無で2つのコホートに分け、年齢・性別・既往疾患などの交絡因子を傾向スコアにより調整した上で、5年および10年間におけるSCAおよび不整脈(心室頻拍など)の発生を比較した。

考察

小児てんかんの患者を普段診療室で診る機会はなかなかないと思いますが、普段診ている小児の中にも気道が狭い、上下顎劣成長、鼻疾患などによる小児の睡眠時無呼吸を疑うケースは増えていると思います。もしもの時に頼れる紹介先や基礎的な知識をつけておく必要があると感じました。



浅野真弥委員

唾液中に漏れ出した血糖が糖尿病患者のむし歯の原因に

<https://www.dent.osaka-u.ac.jp/20251216/16853>

大阪大学予防歯科学講座の坂中哲人講師、久保庭雅恵教授、大学院工学研究科の福崎英一郎教授、大学院医学系研究科の下村伊一郎教授らの研究グループは、高血糖によってグルコースとフルクトースが唾液中に移行して歯垢細菌叢を変化させ、むし歯リスクを高めることを明らかにした。



糖尿病患者など高血糖状態の血液からは、尿にだけでなく唾液中にも糖が出るが、唾液の場合は口腔内に糖が出たのち、すみやかに口腔細菌により消費・改変される。このため、従来の手法では血液から唾液への糖の移行や口腔環境に与える影響を正確に評価することは困難だった。

今回、研究グループは、口腔細菌の影響を受ける前の分泌直後の腺唾液を、唾液腺開口部から直接採取し、メタボロミクス解析を行う手法を確立した。その結果、血

液から唾液への糖の移行と、それがむし歯と関連することを世界で初めて明らかにした。さらに、血液・唾液間で糖の移行が大きいほど、歯垢中の細菌バランスが変化し、むし歯菌が増加して酸を産生し、むし歯のリスクが高まることを発見した。また、糖尿病患者を対象にした血糖管理によって、この唾液中の糖分が減少すると、善玉菌が増加して口腔環境が改善されることも確認された。

考察

今回の結果により、血糖管理がむし歯予防にも極めて重要であることが示されました。今後は、血糖管理が歯周病だけでなく、むし歯予防にも欠かせないことを踏まえ、医科歯科連携のさらなる発展を期待したいです。



森宗こころ委員

診療報酬 2・22%引き上げ、薬価 0・87%引き下げも全体で 12 年ぶりプラス改定…閣僚折衝で合意

https://www.yomiuri.co.jp/yomidr/article/20251224-GYT1T00191/?catname=news-kaisetsu_news

政府は24日午前、医療機関などに支払われる診療報酬の2026年度改定について、全体で2・22%引き上げることを決めた。医師や看護師らの人件費に回る「本体」部分を3・09%引き上げる一方、薬代の「薬価」部分は0・87%引き下げる。全体の改定率がプラスとなるのは、14年度改定以来、12年ぶりとなる。



片山財務相と上野厚生労働相が同日午前、閣僚折衝で合意した。診療報酬は原則2年に1度改定される。本体部分の改定率は、前回24年度の0・88%を大きく上回り、1996年度改定以来30年ぶりの3%台となる。

考察

全体としてプラス改定でとてもありがたいことですが、歯科の部分がどうなるのか、また金属高騰や人件費についても点数配分がどうなるのか一般開業医としても気になる点が多いです。歯科医師としてだけではなく経営面からも新しい視点が必要になってくるのではないのでしょうか。



小林裕子副委員長

【公式】 広島市歯科医師会広報 チャンネル ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。



11月5日放送分

「休日歯科救急と在宅訪問」

瓜生賢氏・若林大輔氏

<https://x.gd/gnfD5>



11月19日放送分

「節目年齢や妊婦の歯科健診」

能美和基氏・森本慎樹氏

<https://x.gd/w0po9>



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」今だけこだけキューアップ 第1・3水曜日午前9時30分から

1月7日放送分

しっかりかんで全身健康に
柄慎太郎氏



虫歯の原因の一つに飲食する長さや回数などの「時間」があります。口の中に食べ物が長くあると口内が酸性になり、虫歯になりやすくなります。また、歯磨き後のうがい回数は、歯磨き粉に含まれるフッ素を残すために極力少なくしましょう。口周りの筋肉を鍛えて、口の機能低下「オーラルフレイル」を防ぐことも大切です。しっかりかめることは全身の健康につながっています。広島市歯科医師会の柄慎太郎さんが話します。

1月18日放送分

歯間磨いて虫歯予防を
横村康彦氏



実は歯磨きは歯ブラシだけでは足りません。歯と歯の間には歯ブラシだけでは取れない汚れが残っています。デンタルフロスや歯間ブラシなど歯と歯の間を磨く専用の道具を使って虫歯や歯周病を予防しましょう。広島市歯科医師会の横村康彦さんが話します。

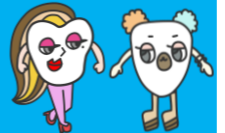


LINE 公式アカウント
友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。



今までの配信内容

7月15日配信 第27回参議院議員通常選挙に係るお願い

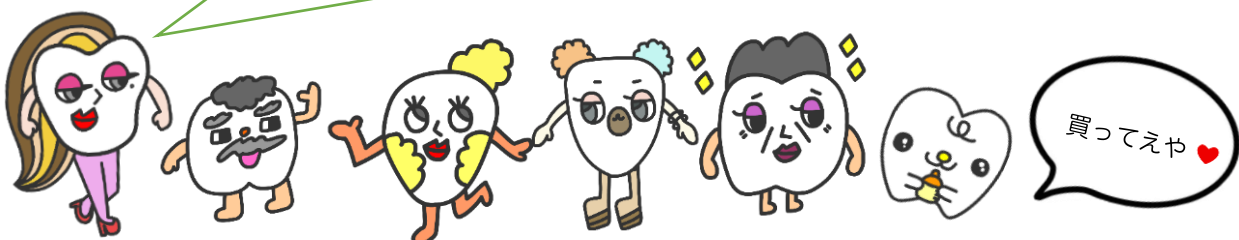
9月17日配信 広島県健康福祉局より個人防護具の無償配布についての通知

11月26日配信 関係者のための病弱児セミナー「口唇口蓋裂・口腔外傷」の案内のお知らせ

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。



公式スタンプよろしくお願ひします！



スタンプの利用は市民の皆様への歯科分野啓蒙の一環としてお考えいただけたら幸いです💖

笑門來福

年頭の挨拶

瓜生 賢

あけましておめでとうございます。

今月の会長コラムは新年互礼会での私の挨拶をもって代えさせて頂きたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。

令和8年新年互礼会 会長挨拶

先生がた、あけましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本日はご多用の中、広島市歯科医師会令和8年新年互礼会にご参集いただき、誠にありがとうございます。ご来賓の皆様方には、日頃から本会の活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、会員の先生がたにおかれましては、日頃より本会事業にご協力賜り、また地域医療の最前線で市民の健康を支えていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、今年の干支は丙午(ひのえうま)であります。丙は十干の三番目で「火の兄」を意味し、午は十二支の七番目で、これもまた火の性質を持っております。つまり丙午は、火と火が重なる年、まさに「火の勢いが最も盛んになる年」とされ、情熱と行動力、そして変革のエネルギーに満ちた一年になると言われております。

また、午は十二支の中で最も力強く前進する動物であり、古来より「躍進」「飛躍」「果敢な挑戦」の象徴とされてまいりました。馬が大地を力強く蹴って駆け抜けるように、私たち広島市歯科医師会も、この丙午の年にふさわしく、市民の皆様の健康を守るという使命に向かって、情熱を持って力強く前進してまいり所存です。

昨年を振り返りますと、厳しい予算執行を強いられはしましたが、一定の成果を上げることはできたのではないかと自負しております。地域医療連携の推進や、学校歯科健診における歯列不正の取扱い変更による「よい歯の賞」の選考基準変更、そして、超高齢社会が進む中、訪問歯科診療のためのバックアップや、より良い歯科医療提供に資するための学術講演会の実施、さらに、市民公開講座の開催や広報活動を通じて、口腔の健康が全身の健康につながるという認識を、より多くの方々を持っていただけるようになったと感じております。

これもひとえに、会員の先生がたお一人お一人の献身的なご尽力、そして行政をはじめ関係各位の温かいご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

そうした中、デジタル化の波は歯科医療の分野においてもとどまることを知らぬ勢いで押し寄せています。レセプトオンライン化に始まり、オンライン資格確認、スマートフォンと連携したマイナ保険証対応、次期診療報酬改定で実施されるのではないかとされているIOSの適用拡大、電子処方箋、電子カルテの導入推進、更には乳幼児健診における健診結果記載のデジタル化等、デジタル化される分野は多岐にわたっています。これらに対応していくのは我々小規模事業者たる歯科医院経営者には大変なことです。残念ながら、対応しきれずに閉院という選択をなさるご高齢の先生がたもいらっしゃいます。会員に最も身近な郡市会たる本会といたしましては、できる限り先生がたに寄り添い、これからも地域医療の提供に支障がでないよう努めてまいりたいと考えています。

さらに、災害時医療体制の整備も重要な課題であります。広島は過去に大きな災害を経験してまいりました。いつ起こるか分からない災害に備え、歯科医師会としても迅速に対応できる体制を整えてまいります。

今年の干支である、丙の「火」のように、情熱を持って地域医療に貢献し、「午」のように力強く未来へと駆け抜けていく。停滞を許さず、常に前を向いて進んでいく。そのような一年にしたいと考えております。

私たち歯科医師は、市民の皆様の「食べる喜び」「話す楽しみ」「笑顔の輝き」を支える仕事に携わっております。この誇りと責任を胸に、本年も会員一同、心をつなげて取り組んでいけたら、と思っております。

結びに、ご臨席の皆様のご健勝とご多幸、ご家族の皆様のご繁栄、そして広島市歯科医師会の更なる発展を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願申し上げます。

12月定例理事会報告

「部外報告」

- 1 1月27日 新規個別指導立会
" 国保組合理事会
1 2月 4日 (県歯)会員サポート室会議
" (県歯)理事会
" 社会保険診療報酬支払基金再審査
1 2月 5日 国保組合理事会(忘年会)
" 県立広島病院医局会主催忘年会
1 2月11日 新規個別指導立会
1 2月12日 広島県国保連合会歯科再審査部会
1 2月13日 令和7年度広島市歯科医療福祉対策協議会学術講演会(講師:大谷一紀先生) 参与会
" 広島県国保連合会歯科審査部会
1 2月13-17日
1 2月14日 (株)奏音 謝恩忘年会
1 2月17日 広島市との協議
1 2月19-21日 社会保険診療報酬支払基金審査

(連盟関係)

「総務関係」

- 1 1月27日 令和7年度学校歯科医協議会
1 2月 3日 総務部忘年会
1 2月 6日 西区支部忘年会
1 2月10日 南区支部忘年会
1 2月17日 第5回支部長・副支部長会
1 2月19日 地域歯科保健部忘年会
1 2月20日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー
1 2月22日 三役会
1 2月23日 新興感染症対策特別委員会
" 定例理事会
" 役員忘年会

(慶弔関係)

(入会退会関係)

(県歯理事会関係)

- 1 2月 4日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (大井手理事)

- 1 2月 2日 休診レセプト点検
1 2月 3日 定例委員会
1 2月10日 (県歯)医療管理部委員会
1 2月20日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

(2) 学術部 (花岡理事)

- 1 2月12日 定例委員会
1 2月20日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

(3) 厚生部 (横村理事)

- 1 2月 9日 定例委員会
1 2月10日 (県歯)福祉厚生・育成部 常任委員会
1 2月20日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

(4) 地域歯科保健部

- 1 2月19日 定例委員会
1 2月20日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

<地域保健> (土屋理事)

- 1 2月 6日 (県歯)第19回全国共通がん医科歯科連携講習会
1 2月 9日 (県歯)地域保健部常任委員会
1 2月17日 広島市との協議

<学校保健> (濱岡理事)

- 1 1月27日 令和7年度学校歯科医協議会
1 2月 1日 【Web】令和7年度第2回広島市西区在宅医療・介護連携推進委員会
1 2月 8日 【Web】広島市西区第30回かかりつけ医推進委員会

<地域連携> (中川理事)

- 1 1月27日 令和7年度学校歯科医協議会
1 1月28日 グループホーム開設面談(有限会社慈恵コーポレーション)
1 2月16日 令和7年度 在宅医療・介護関係者研修会・事例検討会・情報交換会(区域) 第1回企画会議

(5) 広報部 (小島理事)

- 1 2月 2日 校正委員会(だより12月号)
1 2月19日 FMちゅーピー収録
1 2月20日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

FMちゅーピー (放送日)

- 1月 7日 「しっかりかんで全身健康に」 柄 慎太郎 氏
1月21日 「歯間磨いて虫歯予防を」 横村 康彦 氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 不明
ページビュー 不明
会員サイト 訪問者 不明
ページビュー 不明
LINE 公式アカウント 登録者数 12月22日 198名

(7) 特別委員会

- 1 2月23日 新興感染症対策特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

- 2月 3日 令和7年度第2回広島市歯科医師会救急蘇生委員会予定

(9) 選挙管理委員会

(10) 各部事業計画について

(11) 歯科医療安全相談

- 12月17日 相談 被せ物撤去について(女性)
 12月22日 相談 休日診療での紹介状について
 (50歳代男性)

「協議事項」

- (1) 入会について
 現状報告
 (2) 会費について(4名)
 診療状況変更による会費額変更について1名、終身会員資格取得による会費額変更について3名承認

- (3) 新年互礼会について
 内容について確認
 (4) 市民公開講座について
 事前打合せの日程について検討
 (5) おくちの健康展について
 オラモII2台購入について検討
 (6) 広島市歯科医師会定款施行細則に関する内規について
 施行日について検討
 (7) その他

「その他」
 特になし

広島市歯科医師会ホームページ
<http://www.hiroshima-da.com/>
 会員専用ページ
 ユーザー名 : Futaba
 本会PASS : 2622662
 協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。
 ご協力をお願いします。
 事務局までメール(上記)投稿
 お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先
 〒732-0057
 広島市東区二葉の里3丁目2番4号
 広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662
 FAX : 082-262-2668
 休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



会員の皆様へ
 広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。
 広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net
 広報部担当理事 小島将督 E-Mail: kojima.d.c@icloud.com

広島市歯科医師会 Instagram、Facebook、YouTube、
 に投稿しておりますので、是非ご覧ください！！

